

SharePoint 権限レポーター v2.2 操作マニュアル

シンプレッソ・コンサルティング株式会社

中村和彦

概要

本マニュアルは、シンプレッソ・コンサルティング株式会社の SharePoint 活用支援製品「SharePoint Permission Reporter（権限レポーター）」の操作方法をまとめたものです。

- 権限レポーターは、簡単な操作で、SharePoint のサイトコレクション全体/サイト全体/個別コンテンツについて、アクセス権設定をエクセル（CSV）に書き出すことができます。
- 同時に、そのサイトコレクションに存在する SharePoint グループについて、そこに登録されているメンバーの一覧を別レポートに出力することができます。
- コマンドラインでの操作に対応しているため、スクリプト（バッチ化）による定期実行などにも対応します。

重要な注意

SharePoint / SharePoint Online の製品特性上、すべての環境で完全な動作を保証するものではありません。必ず試用版にて、事前の動作確認をお願いします。本製品の利用によりお客様の環境に生じたいかなる問題についても、シンプレッソ・コンサルティング株式会社が責任を負うものではありません。

環境要件

- レポート対象環境：
オンプレミスの SharePoint 2010 (Foundation) 以降、または Office 365（SharePoint Online）
- クライアント要件：
 - ✓ Windows Vista 以降のクライアント OS、または Windows Server 2003 以降
 - ✓ .Net Framework 3.5
 - ✓ Windows Identity Foundation 3.5（後述）

製品および試用版の制約

権限レポーターは標準の SharePoint API を通じてアクセス権情報を取得します。そのため、実行ユーザーに権限のない（アクセス拒否される）サイトやリスト/ライブラリ、アイテムはレポートすることが出来ません。基本的に「サイトコレクションの所有者」に設定されたユーザーアカウントでの実行を推奨します。

また、試用版では、一度にレポートできるオブジェクト（権限設定）が、リスト/ライブラリあたり 10 件に制限されています（ライセンスを登録することで制限が解除されます）。それ以外の点は製品版と同様です。

Windows Identity Foundation 3.5

Windows Identity Foundation (WIF) は、Microsoft の提供する .Net テクノロジーの認証フレームワークです。権限レポーターを利用するには、クライアントに WIF 3.5 がインストールされ、有効化されている必要があります。

参考 : Windows Identity Foundation の概要

<http://msdn.microsoft.com/ja-jp/library/ee748475.aspx>

WIF 3.5 のインストール（クライアント OS により異なる）

ダウンロードセンターから、クライアント OS に対応した WIF をインストールしてください。

ダウンロードセンター :

<http://www.microsoft.com/ja-jp/download/details.aspx?id=17331>

Windows server 2008 SP2 64bit	Windows6.0-KB974405-x64.msu
Windows Vista SP2 64bit	Windows6.0-KB974405-x64.msu
Windows Server 2008 SP2 32bit	Windows6.0-KB974405-x86.msu
Windows Vista SP2 32bit	Windows6.0-KB974405-x86.msu
Windows Server 2008R2 64bit	Windows6.1-KB974405-x64.msu
Windows7 64bit	Windows6.1-KB974405-x64.msu
Windows Server 2008R2 32bit	Windows6.1-KB974405-x86.msu
Windows7 32bit	Windows6.1-KB974405-x86.msu
Windows8 32bit/64it	下記
Windows XP	サポート外

※Windows 8 について

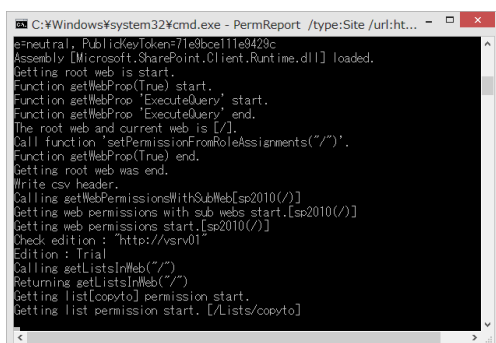
Windows 8 には標準で WIF がインストールされています。ただし既定ではバージョン 4.5 のみ有効です。管理メニュー→プログラムと機能→Windows の機能の有効化または無効化から、「Windows Identity Foundation 3.5」を有効化してください。有効化されていない場合、403 エラーとなります。

※Windows XP について

また、WIF が Windows XP での実行をサポートしないため、本製品を Windows XP で利用することはできません。必要な場合、別途ご相談ください（個別開発案件となります）

GUI 操作とコマンドライン実行

権限レポーターは、一般的な GUI（グラフィカルユーザーインターフェース）からの操作と、コマンドプロンプトによる操作をサポートします。なお、コマンドによる操作は別紙「コマンドラインリファレンス」を参照してください。



```

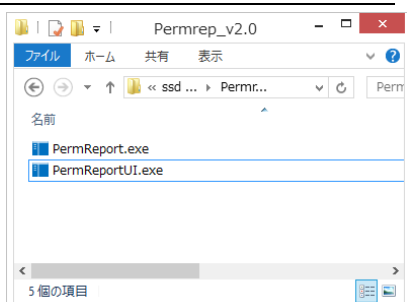
C:\Windows\system32\cmd.exe - PermReport /type:Site/url:ht...
@neutral, PublicKeyToken=71e9bce111e9429c
Assembly [Microsoft.SharePoint.Client.Runtime.dll] loaded.
Getting root web is start.
Function getWebProp(True) start.
Function getWebProp 'ExecuteQuery' start.
Function getWebProp 'ExecuteQuery' end.
The root web and current web is [/].
Call function 'setPermissionsFromRoleAssignments("/")'.
Function getWebProp(True) end.
Getting root web was end.
Write csv header.
Calling getWebPermissionsWithSubWeb[sp2010(/)]
Getting web permissions with sub webs start.[sp2010(/)]
Getting web permissions start.[sp2010(/)]
Check edition : 'http://vsrv01
Edition : Trial
Calling getListsInWeb("/")
Returning getListsInWeb("/")
Getting list[copyto] permission start.
Getting list permission start. [/Lists/copyto]
  
```

コマンドラインによる実行



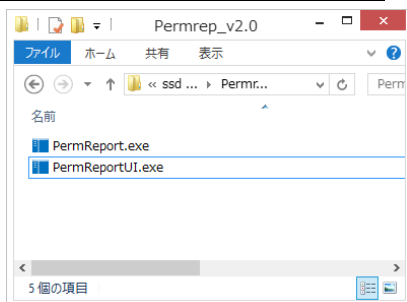
GUI による操作

インストールとアンインストール



ダウンロードしたプログラム本体（PermReport.exe と PermReportUI.exe）をパソコンの同じフォルダ上に配置してください。アンインストールはこのフォルダを削除してください。

権限レポーターの操作（１）起動



「PermReportUI.exe」をダブルクリックして権限レポーターを起動します。

権限レポーターの操作（２）対象 URL の指定



URL：権限を取得する対象の URL を入力。

kaz@owlseye22.onmicrosoft.com

URL 欄に、対象となるサイト（サイトコレクション）の URL を入力します。

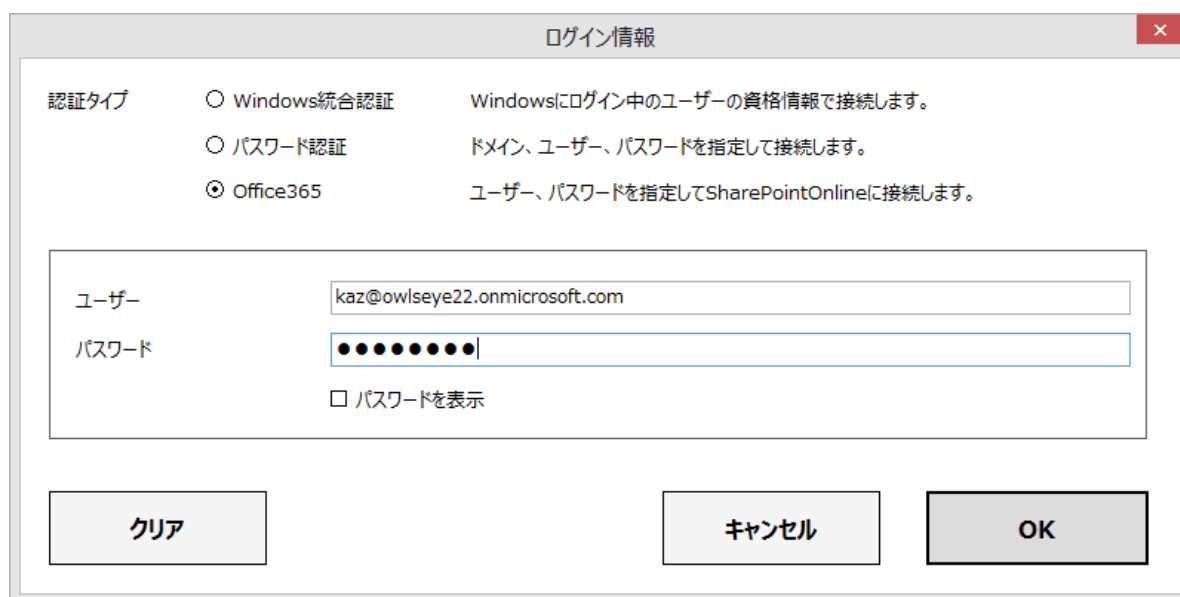


認証：アクセスに必要なユーザー ID とパスワードを設定。

未指定（[ここをクリックして指定してください](#)）

認証欄で、SharePoint へのアクセスに使用するユーザーアカウントとパスワードを指定します。

〔未指定（[ここをクリックして指定してください](#)）〕をクリック。



ダイアログで、認証形式を選択し、必要な情報（ユーザーID やパスワード）を入力して〔OK〕をクリックします。

権限レポーターの操作（3）対象の指定



範囲：レポートする対象を指定。

◎ サイトコレクションのすべて ○ サイトのすべてのリスト/ライブラリ ○ 特定のリスト/ライブラリ

レポート対象とするコンテンツの範囲を選択します。[特定のリスト/ライブラリ]を選択した場合、サイト内のリストやライブラリから、特定のコンテンツだけを指定することができます。


リストを選択してください

	名前	タイプ	アイテム数	権限	URL
<input checked="" type="checkbox"/>	お知らせ	リスト	1	継承	https://owlseye22.sharepoint.com/Lists/List1
<input type="checkbox"/>	カスタムリスト	リスト	4	独自	https://owlseye22.sharepoint.com/Lists/List
<input type="checkbox"/>	クローズドライブラリ	ライブラリ	4	独自	https://owlseye22.sharepoint.com/DocLib
<input type="checkbox"/>	サイトのページ	ライブラリ	2	継承	https://owlseye22.sharepoint.com/SitePages
<input type="checkbox"/>	サイトのリソース ファイル	ライブラリ	2	継承	https://owlseye22.sharepoint.com/SiteAssets
<input type="checkbox"/>	スタイル ライブラリ	ライブラリ	5	継承	https://owlseye22.sharepoint.com/Style Library
<input type="checkbox"/>	ドキュメント	ライブラリ	38	独自	https://owlseye22.sharepoint.com/Shared Documents
<input type="checkbox"/>	フォーム テンプレート	ライブラリ	0	継承	https://owlseye22.sharepoint.com/FormServerTemplates

権限レポーターの操作（3）レポート出力先の指定



保存先：レポートの保存先とファイル名を指定。

未指定（ここをクリックして指定してください） 

保存先欄で、レポートの出力する先を指定します。[未指定（ここをクリックして指定してください）]をクリック。ダイアログでフォルダとファイル名を指定して[保存]をクリックしてください（この時点ではまだなにも保存されません）。

整理 ▾ 新しいフォルダー

名前	更新日時	種類
Data	2013/05/21 22:43	ファイル フォルダー
Logs	2013/05/23 15:06	ファイル フォルダー

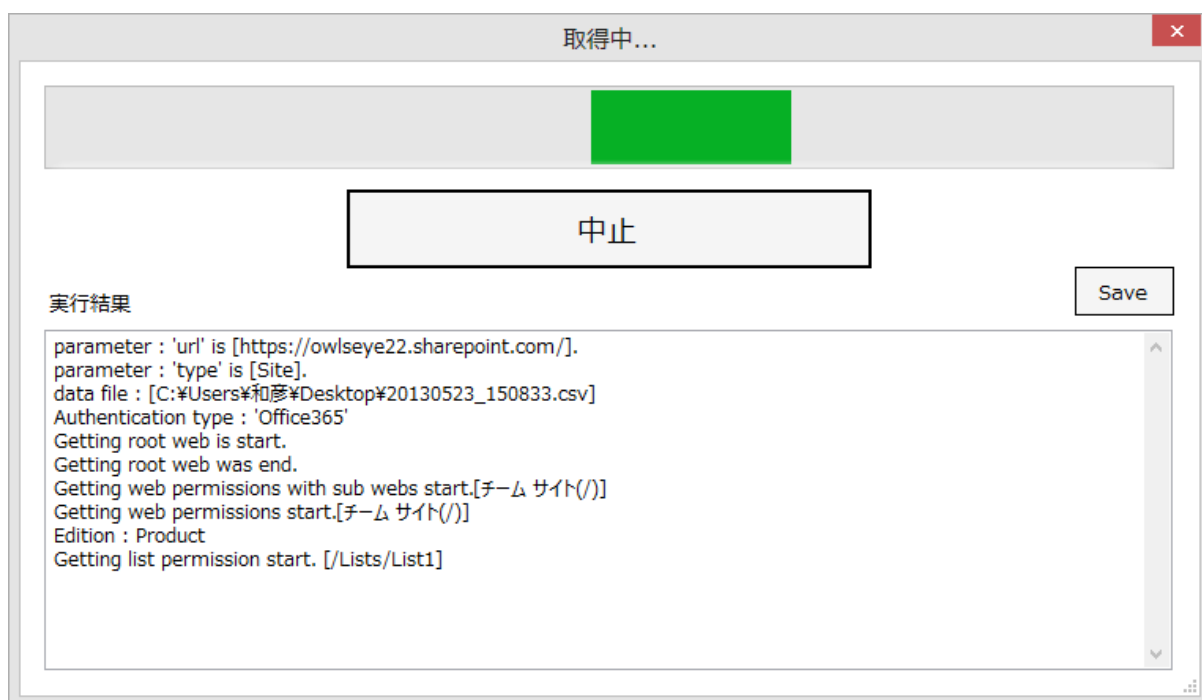
ファイル名(N): 20130523_150833.csv
 ファイルの種類(I): CSV Files(*.csv)

権限レポーターの操作（４）レポートの実行

設定が完了したら「レポート実行」をクリックします。



レポート生成処理が開始されます。



レポートの作成と出力が完了すると、ダイアログが表示されます。「閉じる」でダイアログを閉じます。「フォルダを開く」で、レポートを出力したフォルダを、「ファイルを開く」でレポートファイルを直接開くことができます。

権限レポートの出力が完了しました。

C:\Users\和彦\Desktop\20130523_150833.csv

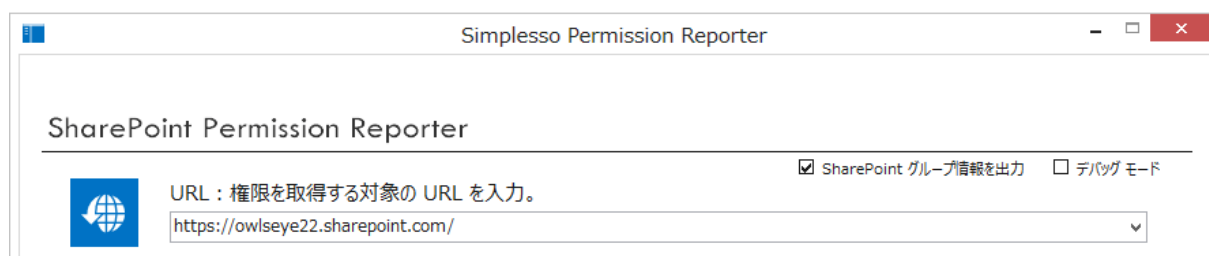
ファイルを開く

フォルダを開く

閉じる

権限レポーターの操作（６）SharePoint グループのレポート

レポートを実行する際、画面右上の「SharePoint グループ情報を出力」オプションをチェックして実行すると、そのサイトコレクションのすべての SharePoint グループについて、詳細（登録されているメンバー（ユーザー/グループ）レポートを合わせて出力します。（レポート範囲がサイト以下でも SharePoint グループはサイトコレクション全体が対象になります）



この SharePoint グループレポートは、権限レポートに指定されたファイル名の末尾に **_debug** をつけた名前で、同じフォルダーに別ファイルとして出力されます。

留意点として、「**誰もメンバーがいない SharePoint グループ**」は**レポートされません**。ただし、デバッグモード（後述）で実行した場合は、レポートに含まれるようになります。

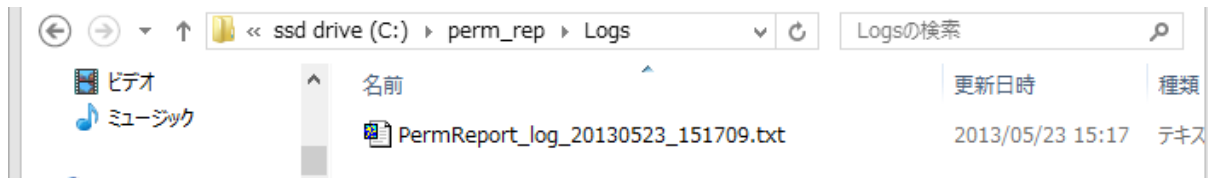
権限レポーターの操作（７）デバッグモード

レポートを実行する際、画面右上の「デバッグモード」オプションをチェックして実行すると、より詳細な実行ログを出力します。プログラムに問題が発生した場合、このデバッグモードで取得したログを弊社までお送りください。



権限レポーターの操作（８）実行ログ

実行ログは、PermReport.exe と同じ階層の [Logs] フォルダに出力されます。



ライセンスキーの登録

ライセンスキーは、SharePoint のルート URL（例：http://contoso.com/）に対して発行され、その URL 配下のすべてのコンテンツに対して有効です。ライセンスキーを登録するには、[ライセンス] ボタンをクリックし、URL とそれに対応するライセンスキーを入力して、[OK] をクリックしてください。



バージョンの確認



権限レポーターのバージョンは、PermReport.exe または PermReportUI.exe のファイルを右クリックして、[プロパティ] の [詳細] タブの「ファイルバージョン」から確認してください。

権限レポートに出力される内容

URL	SharePoint オブジェクトの URL
Title	SharePoint オブジェクトのタイトル（サイト名、リスト名、フォルダ名、ファイル名等）
Site Name	SharePoint オブジェクトが存在するサイトの名前（サイトの場合、Title と同じになる）
List Name	SharePoint オブジェクトが存在するリスト/ライブラリの名前（サイトの場合は空白、リスト/ライブラリの場合は Title と同じになる）
Type	SharePoint オブジェクトの型（Web:サイト、List:リスト、Item:リストアイテム、Library:ライブラリ、Folder:フォルダ、file:ファイル）
ID	SharePoint オブジェクトの ID 値（ID 値を持たないサイトやリスト、ライブラリは空白）
Object	SharePoint オブジェクトにアクセス権が設定されたユーザー/グループの表示名
ObjType	SharePoint オブジェクトにアクセス権が設定されたユーザー/グループの型
Account	SharePoint オブジェクトにアクセス権が設定されたユーザー/グループのアカウント名
ACL	SharePoint オブジェクトにアクセス権が設定されたユーザー/グループに付与されているロール（権限）
Permission Page	SharePoint オブジェクトのアクセス権設定ページの URL

SharePoint グループレポートに出力される内容

Site Name	SharePoint グループが紐づいている（作成された）サイト
Group Name	SharePoint グループの名称
Description	SharePoint グループの説明
User/Role	SharePoint グループに登録されているユーザーまたはグループ
Mail address	SharePoint グループに登録されているユーザーまたはグループのメールアドレス
Account	SharePoint グループに登録されているユーザーまたはグループのアカウント名
Type	SharePoint グループに登録されているユーザーまたはグループの型
URL	SharePoint グループの設定ページの URL

以上